

2020. 10. 21

当社の今後の方針について

株式会社日本触媒（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：五嶋祐治朗、以下「日本触媒」）及び三洋化成工業株式会社（本社：京都市東山区、社長：安藤孝夫）は、2021年4月1日に予定した両社経営統合（以下「本経営統合」）に向けた詳細な検討と協議を重ねてまいりましたが、このほど本経営統合を中止することで合意いたしました。詳しくは、本日付けプレスリリースをご覧ください。

当社は、本経営統合の中止による戦略見直しが必要ではありますが、強固な財務基盤のもと、基本戦略には変更ございません。競争力のあるマテリアルズのバリューチェーンを、顧客課題に応えるソリューションズビジネスに生かし新たな価値を生み出していく戦略を、当社グループ単独でも遂行していく所存であります。すなわち、

- ・マテリアルズ部門では、EO、AA/SAP等の基盤事業において、現在進めているSAPサバイバルプロジェクトに代表される種々のコストダウンを徹底し、高品質の素材を高い生産技術力でグローバルに提供することにより、収益の拡大を図ります。
- ・ソリューションズ部門では、当社の強みであるキーマテリアル開発力を活かし、他社にない独自の機能提供で、世界中の顧客の課題解決を目指すことにより、事業の拡大を図ります。具体的には成長分野として、インダストリアル（モビリティ、ペイント&コーティング等）、エナジー&エレクトロニクス（新エネルギー、電子・情報材料等）、ライフサイエンス（医薬品、ヘルスケア、化粧品等）に注力し育成を加速してまいります。

当社は、企業理念「TechnoAmenity ～私たちはテクノロジーをもって人と社会に豊かさと快適さを提供します」のもと、新統合会社で目指した「未知の領域へ常に挑戦し、革新的でユニークな価値を生むことで、生活のあらゆる場面を豊かにし、未来のため持続可能な社会の創造へ貢献」を叶えるべく努力してまいります。これまで本経営統合実現のためさまざまなご支援とご理解をいただきました株主、取引先、その他多くの関係者の皆様に深く御礼申し上げますとともに、今後の事業運営に関しまして、引き続きご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。

以上

日本触媒について：

1941年の創業以来、自社開発の触媒技術を核に事業を拡大。酸化エチレンやアクリル酸、自動車用・工業用触媒などを世の中に送り出し、現在では紙おむつに用いられる高吸水性樹脂で世界1位のシェアを誇っています。日本触媒は「テクノロジー（技術）」を通じて「アメニティ（豊かさ）」を提供する、という企業理念「TechnoAmenity」のもと、グローバルに活動する化学会社です。

<https://www.shokubai.co.jp>

【問い合わせ先】

株式会社日本触媒 I R・広報部

TEL:03-3506-7605 〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-2-2